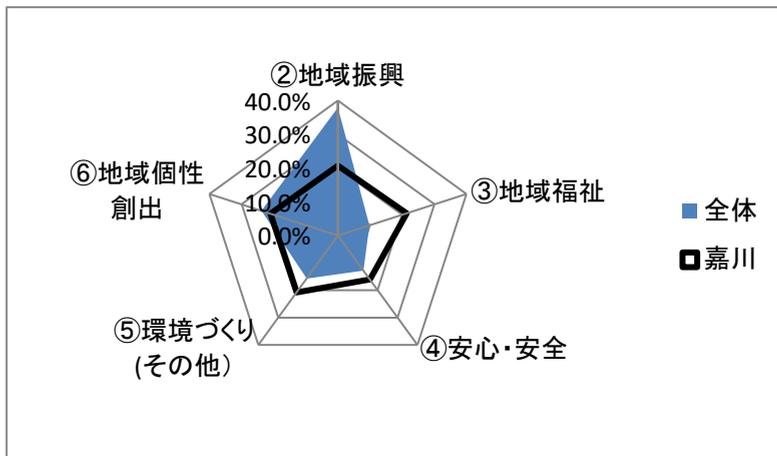


嘉川自治連合会 地域づくり交付金事業概要(令和3年度)

■地域の情報

地域人口	6,743人	自治会数	39
世帯数	2,746世帯	自治会加入率	83.5%

※数値は、令和4年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	12,758,000 円
交付金決算額	12,758,000 円
その他収入	200,064 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,772,050 円
②地域振興	772,716 円
③地域福祉	798,936 円
④安心・安全	599,766 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,456,000 円
⑤環境づくり(その他)	775,206 円
⑥地域個性創出	783,390 円
決算総額	12,958,064 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

嘉川の魅力を活かした元気で楽しく住みたいまちづくり

■総括

自主防災本部と災害ボランティア嘉川の避難所運営に関する合同訓練(実務体験)を実施したことで今後の地域防災力の充実・強化が期待されます。また、小中学生の防災学習を実施し、子どもたちに防災意識の向上に寄与できたと考えています。ふるさと学習では多数の参加があり、今後も継続して行っていきたいと思います。他に、今年も改めて子育て支援組織「しゅっぽっぽ」の活動を継続することの大切さを確認することができました。コロナ禍でこれまでのイベント等が中止する中、コロナ禍でも実施できるイベント等を工夫して企画したことで、嘉川地域の魅力を地域へ発信するできました。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費、事務費
② 地域振興	ふれあい交流、嘉川の情報発信
③ 地域福祉	すこやか子ども未来、みんなで健康長寿、楽しい健康ライフ、がんばる人づくり
④ 安心・安全	みんなで安心防災
⑤ 環境づくり	美しい環境づくり、優しい交通ネット、公共インフラ整備
⑥ 地域個性創出	嘉川らしいまちづくり、歴史文化の伝承

■重点的に取り組んだ事業

事業名	すこやか子ども未来	決算額	190,395円
目的	地域みんなで子育てができるよう、子育て支援団体の活動を支援する。		
① 実施内容 実施時期 参加人数	<p>1 嘉川子ども館の子育て活動 子育て支援組織「みらい」の運営の支援をしました。 また、嘉川子ども館「しゅっぼっぼ」に絵本や遊具購入を支援しました。 「しゅっぼっぼ」開館日：毎週火・水・金 第3土曜日、行事 7、12、2、3月 利用者：延べ,000人</p> <p>2 いのちの学習「川西ちびっ子大集合」 第19回川西ちびっこ大集合パンフレット作成を支援しました。</p> <p>3 放課後児童クラブの活動 放課後児童クラブ(2施設)の行事や活動を支援しました。 時期：通年(夏休み・春休み・冬休み含む)、おおぞら学級・仲良し学級：児童90人</p> <p>4 児童生徒の見守り活動 登下校時の児童や生徒の見守り活動を実施しました。 時期：通年(登下校時)、見守り隊(地区)：100人</p> <p>5 小学生「ふるさと学習」、「世代間交流」 小学生「ふるさと学習」の支援をしました。 「世代間交流」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 開催日(ふるさと学習)：7月22日(木)、29日 8月2日(月)、3日(火)、4日(水)、9日(月)、24日(火) 参加者：延べ46人 コロナ対策で定員を各15人とし、交流センターと興進小学校で開催しました。</p>		
成果 評価	<p>子育て支援組織や放課後子ども館に対する絵本や遊具の購入のための資金援助を支援し、充実した遊びの場や集いの場を提供するもので、子ども達の健やかな成長を助けるものとなっています。登下校時の見守り活動では、活動を通じて児童や生徒との繋がりができ、挨拶の交換などで親しい関係が醸成されつつあります。小学生「ふるさと学習」では、学校や家庭ではできないことを体験することができました。参加希望が多数あり、学びたい・教わりたいという意欲があることに気づかされました。今年、東京オリンピックがあり、山口市出身の選手を応援するうちわを作り、家庭で応援してもらいました。講座内容：オリンピック応援うちわ作り、絵皿作り、ウグイス笛作り、風力自動車作り、絵手紙作り</p>		
今後に向けて	<p>地域の独自の活動として運営をしている子育て支援組織に対して今後も支援を継続していきたい。見守り活動を通して児童や生徒との繋がりを深めていきたい。ふるさと学習や世代間交流の講座内容を更に充実させ、地域ぐるみで子供を見守り育てていきたい。そのためにも、多くの子どもたちが興味を示す学習や講座を企画し、参加者を増やしたい。</p>		

事業名	みんなで安心防災	決算額	599,766円
目的	地域防災力の充実・強化と防災意識の高揚を図り、みんなが安心して暮らせる地域を造る。		
② 実施内容 実施時期 参加人数	<p>1 自主防災組織の設置促進、充実強化</p> <p>(1) 自主防災本部連絡調整会議 開催日:11月27日(土) 参加者:42人 各自治会長が参加し、自主防災本部の組織体制や配備体制の説明、災害対応等の各自治会との連絡体制、アンケート調査結果などの調整会議を開催しました。</p> <p>(2) 自主防災組織会議はコロナ禍のため、開催はできなかったが、アンケート調査によると自治会の現状・問題点や新たな設置に向けた取り組みなどが確認され、自主防災組織の設置を検討している自治会が15地区もあり、今後の設置が期待されます。</p> <p>(3) 防災本部の資材等購入 避難所運営に必要な防災備品を購入しました。</p> <p>(4) 避難状況 (避難場所:嘉川地域交流センター) 8月14日(土):大雨災害 避難者7人、9月17日(金):台風17号 避難者2人</p> <p>2 防災研修・訓練で地域防災力の強化</p> <p>(1) 防災合同訓練 開催日:7月17日(土) 参加者:43人 避難所運営の実務体験するため、自主防災本部と災害ボランティアかがわによる合同訓練を実施しました。</p> <p>(2) 自主防災本部会議 開催日:6月26日(土) 参加者:29人 今年度の活動計画や防災訓練等の取り組みを協議しました。</p> <p>3 小・中学生を対象に「命を守る防災学習」 嘉川小学校:10月14日(木)、興進小学校:10月7日(木) 参加児童:46人(2校) 4年生を対象に自然災害の怖さをクイズ形式で考え、防災グッズの重要性を学習をしました。 川西中学校:12月13日(月) 参加生徒:131人 1、2年生を対象に避難した場合にそこにあるものを使って搬送したり、避難所内での自分たちができることを考え実践する体験学習を実施しました。</p>		
成果 評価	自主防災本部と災害ボランティアかがわによる避難所運営に関する合同訓練は実務体験として成果があったが、各分野、各活動を習熟したリーダーの育成が必要と感じました。		
今後に向けて	もっと大規模な避難体制に向けて、小中学校の避難運営等を検討する。避難所スタッフの確保と育成、災害ボランティアの連携と活用について検討し、運営に必要な資材を計画的に整備していきたい。また、自主防災組織を検討している自治会を支援し、組織設置を推進していく。		

事業名	ふれあい交流	決算額	94,729円
目的	地域住民が楽しく交流できるふれあいイベントで地域の活性化を図る。また、明るい笑顔のあいさつで地域の絆を高める。		
③ 実施内容 実施時期 参加人数	<p>1 新型コロナウイルス感染拡大のため、一部のふれあい交流イベントを実施しました。</p> <p>(1) 嘉川のいいとこみつけちやろ写真コンテスト！ 募集期間:5月～10月、結果発表:11月3日(嘉川文化祭)に表彰式を開催 応募者:38人</p> <p>(2) 謎解きアドベンチャー2021inかがわ 実施期間:11月～12月、報告日:12月12日(日)、報告者:89人</p> <p>2 祭り・イベントで子どもみこし 子どもたちが生き生きと活躍できる場として地域行事にみこしを担いで各イベントに参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各イベントが中止となりました。(各イベント:体育祭、嘉川八幡宮秋季大祭、文化祭(縮小開催))代替事業として、過去の各イベントに参加した子どもみこしのアルバムを作成しました。</p> <p>3 地域・歴史文化のふるさと探訪 「ふるさと嘉川の遺跡・史跡」を利用した「ふるさと探訪ウォーク」を元気会が実施されました。実施日:4月6日(火)、23日(金)、6月22日(火)、6月29日(火)、10月4日(月) 参加者:延べ172人</p> <p>4 みんなであいさつ、つながる地域 「川西地区あいさつ・こだまプロジェクト」や地域内団体と連携して活動の推進に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、あいさつ運動立哨活動は中止となりましたが、「あいさつ運動」推進のため、今年度、新たに嘉川駅、上嘉川駅、深溝駅にのぼり旗(2旗づつ)を設置しました。</p>		
成果 評価	毎年秋の恒例行事だったふれあい交流イベント(コスモスウォーク、三世代交流ウォーク)は今年もコロナ禍により中止となったが、コロナ禍でも実施されたイベントについてはコロナ対策を十分に取りながら工夫した企画としたことで、大変好評で、参加者にも喜ばれました。住民の目に付きやすい駅前にのぼり旗を設置し「あいさつ運動」推進の向上につながりました。		
今後に向けて	地域住民が楽しく交流できるふれあいイベントを実施し、地域の活性化を図っていききたい。 また、コロナ禍でもできるイベントについて十分に検討をしていきたい。 今後も地域住民の目に付きやすい場所に「あいさつ運動」ののぼり旗を設置していきたい。		